



八重山高校家庭クラブが県内初の文部大臣賞受賞

生ごみリサイクル問題で全国評価

八重山高校（吉川英治校長、生徒数943名）の家庭クラブは、先月、高知県で開催された「第49回全国高校家庭クラブ研究発表大会」において、県内で初めて文部大臣賞を受賞しました。同校は「地球環境を守ろう、学校からの発信—生ごみリサイクル」をテーマにした取り組みを行い、生ごみを分解する土着菌を開発、普及に努めた実績が高く評価されたものです。8月8日に石垣市役所を訪問し大濱市長へ受賞報告が行われ、吉川英治校長や顧問の下野ヨシ子教諭とともに、クラブ員が研究した内容について図表などで説明しました。

2001
広報いしがき

No.359

8 月号

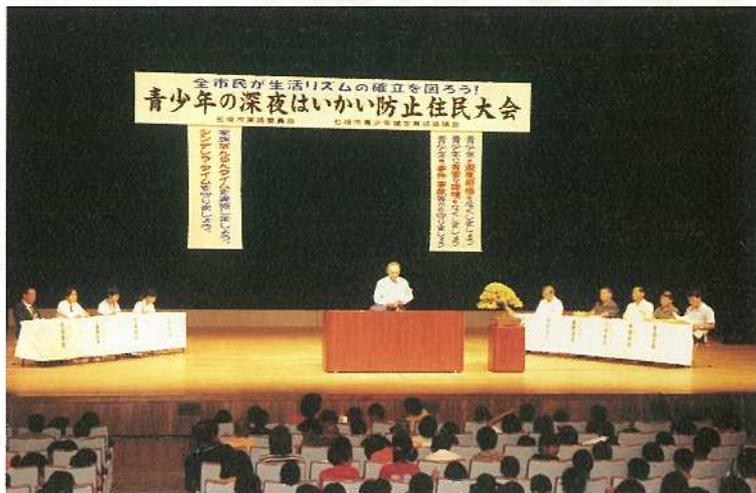
平成13年8月20日発行

石垣市の情報をインターネットで <http://www.city.ishigaki.okinawa.jp>

編集・発行／沖縄県石垣市美崎町14番地 石垣市総務部広報広聴課
TEL.(09808)2-9911(代)・(09808)2-1243(直)・FAX(09808)3-1427

子どもたちの明るい未来をつくろう

青少年の深夜はいかい防止県民一斉行動



青少年の深夜はいかいをなくし、
家族だんらんタイムを実施しよう

数の市民が参加しました。大会では、青少年が健やかに成長する家庭や地域社会を市民の連帯と協力でつくりあげていくための取り組みの強化が話し合わせ、より良い環境の実現に向け、住民ぐるみで「青少年の在宅を確認し、深夜はいかいを防止する」など八項目の大会宣言を採択しました。

大湊市長は「子どもの健全育成を図るのは大人の義務、青少年の明るい未来建設と市民の幸福実現を図ろう」とあいさつしました。長嶺八重山署長は「少年の問題行動は夜型社会が大きな要因、学校、家庭などへの非行の前兆となる問題行動の把握と適切な指導を呼びかけました」

夜型社会の是正を大人自らが実践し、青少年の深夜はいかい防止への取り組みを強化するため、「平成十三年度青少年の深夜はいかい防止県民一斉行動」の「石垣市住民大

会」（主催・同実施委員会）が、七月十八日、石垣市民会館大ホールで開催されました。会場には夏休みを前にした市内の小・中学生、高校生、学校、PTA関係者等多

青少年の在宅を確認し

深夜はいかいを防止しよう

た、父母代表四人も意見発表を行ったあと石垣市PTA連合会の東迎正則会長が八項目を盛り込んだ大会宣言を行い

ました。市民会館での集会のあと、プラカードを掲げた参加者が石垣市役所、ゆいロード、市民会館前まで街頭パレードを行い大会宣言などをアピールしました。

ハンセン病補償金請求手続きに関する
問い合わせはつぎのところへ

ハンセン病は、ライ菌（一八七三年ノルウェー人医師発見）による感染力の弱い皮膚病であるが、わが国では遺伝病として誤認され、断種手術まで強制されてきました。

昭和三十三年第七回国際らい会議（東京）などで、隔離収容治療を不要とし、住宅治療を提言、決議などにもかか

わらず、平成八年四月「らい予防法廃止」にいたるまで、誤った国の施策は、ハンセン病患者その家族に対し、重大な人権侵害を九十年間に及ぶものとした。身体・財産・名誉・信頼・家族関係、その他社会全般にわたる患者被害は極めて甚大であり、国と国会の責任は重大といわざるを得ない。

国は控訴を断念し、被害者救済の立法措置を早急に行う旨の表明はしかるに当然である。患者あるいは元患者であった被害者の人間回復、人間としての尊厳確立は、しかし、今から始まったといえるものであり、ハンセン病に対する差別、偏見、誤解を解く努力を市民皆様へ強く訴え、理解を求めたい。

石垣市長 大湊長照

ハンセン病補償金請求手続きに関する
相談・問い合わせはつぎのところへ

沖縄県福祉保健部健康増進課疾病対策係
電話 098-866-2209
財団法人 沖縄県ハンセン病予防協会
電話 098-832-9528
国立療養所 沖縄愛楽園
電話 09805-2-8331
国立療養所 宮古南静園
電話 09807-2-5321
請求期間は平成13年6月22日から
平成18年6月21日（必着）まで5年間

落語家の桂文也さん 講演と落語でジェンダー問題を解説



講演と落語を披露した桂文也さん

石垣市では、講演と落語を通して家庭や職場における男女間の問題を啓発する催しを七月二十日に平得公民館で開催しました。これは、男女共同参画社会を実現する活動の一環として財団法人おきなわ女性財団が主催したもので、沖縄県女性総合センター「ているる」の開館五周年を記念して開かれたものです。

講演と落語を披露したのは桂文也さんで、講演では「笑って、感じて、気付いて、変わる」をテーマに「社会的文化的につくられた男女の性差

(ジェンダー問題)を啓発し解決していくことが大切である」とし、ジェンダー問題を正しく理解し、自分自身が変わらなければならぬと話しました。ジェンダー落語(創

作)では「目覚めのススメ」と題してお話を披露しました。桂さんは落語家のほかエッセイスト、コピーライターとして、様々な活動を展開していますが、現在は主にジェンダー落語を創作するなどこの問題の持つ様々な問題の啓発を行っています。

会場には、百二十名余りの市民が参加し、日頃直接触れることの出来ない落語の軽妙な話術に熱心に聞き入っていました。また、桂さんの巧みな話術で表現した意識改革を実践する話に会場は終始和やかな雰囲気になりました。

気象台の情報を活用しよう 防災気象講演会を開催



多くの市民が参加した気象講演で気象について話す春日氏

石垣島気象台と石垣市は共催で七月二十五日に、市民会館中ホールにおいて天気教室と防災気象講演会を開き、気象への関心や防災知識の普及を図りました。

「防災気象講演会」には、防災関連機関をはじめ多くの市民が参加して行われ、沖縄気象台長の春日信氏、石垣島

地方気象台技術課長の座間味忠氏が気象関係や災害情報、地震や台風の災害について講演を行いました。

講演では、地震災害についての心構えの中で棚や高く積んだ書類、コンクリートをつないだ建物、土木工事の盛土などの対策が必要であると説明するとともに地震の際は身の安全を守り、火の始末などを確実にを行うことの大切さなどについて話されました。

同時に気象台が発表する情報の活用を呼びかけました。会場入口のロビーには、雨粒、竜巻、液状化現象の発生過程が学習できる実験装置が展示され、自然界で起こる気象現象のしくみが紹介されました。

人口と世帯数

総人口	44,762(+ 25)
男	22,444(+ 11)
女	22,318(+ 14)
世帯数	17,630(+370)

(平成13年6月末日現在)

今月の主な内容

- 青少年の深夜はいがい防止県民一斉行動…… 2
- ハンセン病に関する相談窓口…… 2
- ジェンダー問題、講演と落語…… 3
- 防災気象講演会を開催…… 3
- 観光週間で各種イベント…… 4
- 先人が苦難の道を歩んだマラリアとの戦い…… 6
- さとうきびの夏植えを奨励…… 7
- 各機関のお知らせ…… 7
- 消防本部北側道路に規制禁止区域を表示…… 8
- 住民検診の心構え…… 8
- とうばら一大会参加者募集…… 8

観光の日 クリーンアップ作戦 観光週間で各種イベント賑わう



多くの市民が参加して行われたクリーンアップ作戦

八月一日から七日までの間は「ほっとできたかな 旅で見つけたふれあいと新しい自分」をキャッチフレーズに、観光に対する意識の高揚と観光資源の保全を目的に全国一斉に「観光週間」が実施されました。また、市内では「観光の日」にあわせて様々なイベントが展開されました。

登野城漁港近くのマンタ公園において緑豊かで美しいまちづくりを推進しようと八重山クリーンアップキャンペーン(同実行委員会)が行われ、八重山三市町の各団体や事業所をはじめ、市民ボランティアが参加して清掃作業に汗を流した。また、日頃から継続

的に地域における清掃活動や環境美化に取り組んでいる五団体、二人の表彰式も行われた。セレモニーで大湊市長は「今日のクリーンアップ活動の展開で、まちを美しくし、観光客を歓迎したい」とあいさつ。その後、各団体が約二時間にわたって国道バイパスなど市内の目抜き通りを市民ボランティアが清掃作業に汗を流した。

八重山の空の玄関口となる石垣空港では、石垣市観光協会青年部やミス八重山が各便で到着した観光客にバインやジュース、などを配布し八重山観光をPRしました。

観光週間特集

夏の石垣島観光真っ盛り ～観光客に密着取材～

石垣市は平成九年十一月に「石垣市観光立市宣言」を行い、観光施設の整備をはじめ、町づくりを力を入れてきました。

それが功を奏し、平成十一年には「行ってよかった観光地ベスト二〇全国編」で石垣島が日本一となり、また平成十二年には「国内ベスト・リゾート部門」のベスト・エリアの部で第一位に、さらにベスト・ダイビングスポットの部においても第一位に選ばれるなど、まさに快挙の連続であります。世界的なリゾート地として知られているハワイ諸島、マイアミ、バハマ諸島。石垣島はこれらのリゾート地とほぼ同緯度に属し、今や世界中から観光のメッカとして脚光を浴びています。そこで、広報取材班は、「八月一日の観光の日」にちなんで、観光客に石垣島の印象等を聞いてみました。



新婚旅行で石垣島に

田中紳介さん・和佳さん

(埼玉県草加市)

今年七月に結婚し、新婚旅行で初めて石垣に。3泊4日の日程で石垣島の自然を十分に満喫。「緑が多いのには驚きました。のんびりして、ゆったりと落ち着ける良いところですね。また、「食事も口にあって、ソーキそばがとてもおいしいですね。ビールの味も格別です。これから西表島、竹富島の自然を楽しみにしています」と、にっこり話していました。



南国情緒を味わう

合川朋子さん

田崎順子さん

(神奈川県横浜市)

二人とも小学校の教諭で、これまで沖縄本島までは来たことはあるが石垣島には初めて。「海と空がきれいなのはとても感動しました。ハブクラゲに刺されなにかと少し心配でしたが」と苦笑い。「日差しが強いが、木陰にはいれどとても涼しいですね。夕日を見ながら泳ぎました。南国の情緒をたっぷり味わっています」と満足そうに話していました。

観光週間特集

四泊五日の日程で家族六名石垣島に初旅行。本来は竹富島へ行く予定であったが、台風の影響で少し変更になった。しかし、伝統工芸館や民俗園さらにグラスボートに乗り熱帯魚等も見回りある程度旅の目的を達成。石垣島の印象を尋ねると「沖縄料理は味が濃いと聞いていましたがとても口に合います。子ども達も喜んで食べていました。現地での黒砂糖は特においしいです」と話した。

料理がとってもおいしい

野上さん一家

(東京都世田谷区)



自然景観に感激

伊藤周二さん一家

(長野県茅野市)

二十年前、夫婦で石垣島にきた経験がある。妻の幸子さんは幼少時代に石垣島で過ごしたことがある。キャンプを主に八泊九日の長期滞在型の旅行。「このキャンプ場も大分良くなったが、キャンプする人のマナーも含めて市も清掃管理を徹底してほしい」と要望。また「石垣島は自然が残っていて、すばらしく、特に川平のヨーンの道の景観には感激しました」と絶賛。



八重山の海大好き

岩根満宣さん一家

(大阪府吹田市)

大阪から家族四名で来島。妻のかずみさんは大のダイビング好き。「マンタをみたこともあり、八重山の海は大好きです」と目を輝かせて話した。ご主人の満宣さんは「想像していたより暑くなく、さわやかな風が吹き、とても過ごしやすい。石垣島の海と空はどこよりもきれいだ。今回の旅の目的はリラックスすることでしたので、大変満足しています」と笑顔で話していた。



自然がすばらしい

佐藤文男さん一家

(千葉県成田市)

佐藤さん一家は栃木、千葉、神奈川、東京と関東一円から来島し、ほとんどが初めての石垣島旅行。「さんごや熱帯魚など手にとって見ることででき大変感激しています」と興奮ぎみに皆で口をそろえた。「海の青さと空の色がマッチしてなんとも言えないすばらしい光景ですね。石垣島の自然はとても雄大です。今回の旅行はよい思い出になりました。またぜひ来たいですね」と満面に笑みを浮かべた。



まるで海外みたい

渡辺真至さん

(愛知県高浜市)

昨年、石垣島に来る計画をしていたができず、今年はそれを実現。川平のクラブメツドに職場関係の先輩や友人と宿泊。「初めて石垣島への旅行です。もちろんこのホテルの雰囲気もありますが、この島はまるで海外みたいな独特なゆつたりした雰囲気があります。日本のどこの地域とも違って景色がすばらしく、島の自然をいつまでも大切に残してほしいですね。石垣は楽しいところです」と印象を述べた。



戦争・移民マラリアの教訓 先人が苦難の道を歩んだマラリアとの戦い

おはようロマンメッセージ②



六月上旬に、グアム島で行われた「第十回太平洋科学学会」に出席し、「八重山群島におけるマラリアとマラリア撲滅への道」と題して講演しました。

かつて八重山群島はマラリアの島として知られ、沖縄本島あたりでは「ヤキーの島」と言われ、石垣島に行くと原因不明の熱病があり、それに罹ると死亡率が高いと恐れられていました。八重山でも風土病として恐れられ、「風気」

と言われ、住民から怖い病気として認識されていたわけでした。

一八九四年に東京帝国大学の三浦守治医学博士により、この八重山の風土病がマラリアであるということが医学的に結論付けられました。さらに、一八九八年にはロイナルド・ロスというイギリスの軍医がマラリアは蚊の媒介によって起こるということを証明したのでした。

第二次大戦の終わり頃、石



垣島では、すべての住民は軍の指定する避難地へ移動するように命令が下されました。当時、住民の間ではそこに非難するとマラリアになるのは分かっていたましたが、軍の命令上どうしても行かざるを得ない状況でした。その後は食糧不足や栄養不良から一家全滅という地獄に化したわけでした。

その当時のマラリア患者は一万六千八百八十名、実に人口の五三・三%がマラリアを罹り、三千六百四十七名が死亡すると言わずさまじい惨状となりました。

このような戦争マラリアに対し後に日本政府による平和祈念館の建設あるいは戦争マ

ラリアの犠牲者が供養されている慰霊碑の建立につながってきたわけです。

一九四九年頃から計画移民や自由移民として沖縄本島や宮古島から八重山に移民団が入植してきました。その時に、六千四十五名ほどのマラリア患者が約七年間に新たに発生しています。これは、移民マラリアと言われています。その移民マラリアは民政府の様々な対策によって次々と撲滅され、最終的には一九六〇年に四名、六一年に五名の患者を最後としてこの八重山全域からマラリアの発生がゼロとなったわけです。

このように何百年と続いてきたと思われる風土病マラリアがとうとう一九六一年を最後として撲滅したわけですが、そこに至るまでは大変な努力があったわけでした。

マラリアの根絶に至るまでに忘れてはならないのがアメリカの昆虫学者「ウイラー博士」で、マラリア防圧対策の指導者でした。博士は、残留噴霧方式で徹底的に蚊に対する駆除、対策をとったわけでした。

最近八重山保健所が石垣島の河川を調査したところ、マラリアの媒体する「ハマダラ蚊」が大量に見つかったということです。隣の韓国では一九七九年に撲滅宣言がなされていますが、一九九三年に一人のマラリア患者が発生し、五年後の一九九八年には三千九百三十二名の爆発的な流行となりました。そういうことを考えますと、いったん撲滅宣言しても新たに在来患者は入ってくるということを十分に認識しておく必要があると思います。

今日、マラリア全世界では三億人以上が感染して毎日三千人位が死亡し、今なお、猛威を振るっているというところであります。しかも、薬が効かない耐性マラリアが現れています。マラリアに関しては今後とも注意、警戒し、研究していく必要があると思います。

この頁は「市長のおはようロマンメッセージ」
として放送されたものから
内容を変えずに掲載
しています。

計画的な植付け作業で さとうきび生産の拡大を図ろう

野鼠駆除の徹底もよびかけ



石垣市さとうきび生産振興対策室では、八月三日に「さとうきび夏植督励会議」を開催し、さとうきび農家に対して今期の夏植えを呼びかける広報活動などについて話し合いました。七月二十五日には石垣島製糖（漢那長委社長）が今期の原料委員会を開催し、各地域の原料委員に八月

から開始する「夏植計画」について話し合いました。今期夏植えの目標は千五百十ヘクタールとなっており、また、現在栽培されているさとうきびのほ場において倒伏しているさとうきびにおいて、野鼠（ねずみ）による被害が発生しています。各農家において野鼠駆除を行って下さい。

【期間】九月十日（月）
【時間】午前九時～午前十一時
午後一時～午後四時
【問い合わせ】
石垣市役所児童家庭課
電話 二一九九一一
（内線二五四、二五五番）

児童扶養手当特別児童扶養手当現況届 母子・父子家庭等医療費助成

児童扶養手当、特別児童扶養手当、母子、父子家庭等医療費助成受給者の皆さんは、毎年一回「現況届」を提出する必要があります。この届出がない場合八月以降の手当のお支払いが出来なくなりますので、ご注意ください。

小型船舶の登録などに関する新たな制度

日本小型船舶検査機構は小型船舶の検査を行ってまいりましたが、「小型船舶の登録等に関する法律」が制定されました。これは、総トン数20トン未満の小型船舶を登録することにより、その所有権を公証しようとするものです。小型船舶の登録・測度事務は原則として船舶検査と併せて行われます。

【問い合わせ】日本小型船舶検査機構本部
〒102-0073
東京都千代田区九段北4-2-6 市ヶ谷ビル
電話 03-3239-0821（代）

労働時間の適正な把握のために

労働基準法により、使用者は労働時間を適切に管理する責務を有しています。労働時間の把握に係る自己申告制（労働者が自己の労働時間を自主的に申告し、労働時間を把握する）の不適正な運用に伴い割増賃金の未払いや過重な長時間労働といった問題が生じています。

労働時間の適正な把握のために使用者が講ずる措置を具体的に明らかにすることで、労働時間の適切な管理の促進を図ります。

【問い合わせ】
八重山労働基準監督署 電話2-2344
石垣市字登野城55-4（石垣地方合同庁舎内）

労働安全衛生法による免許試験

労働安全衛生法に基づく免許試験は以下のとおりです。受験申請書の受け付け期間は9月25日（火）から9月28日（金）までの間です。試験手数料は、学科試験が8,300円、実技試験が11,100円。

- 11月10日（土） 八重山商工高校
- 2級ボイラー技士 ○クレーン運転士
- 潜水士 ○移動式クレーン運転士
- 11月11日（日） 沖縄国際大学
- 1級ボイラー技士 ○2級ボイラー技士 ○ボイラー整備士
- クレーン運転士 ○移動式クレーン運転士
- 揚貨装置運転士 ○潜水士 ○第1種衛生管理者 ○第2種衛生管理者

【問い合わせ】（社）沖縄県労働基準協会八重山支部
電話 2-2344

労働条件相談センター

「労働条件相談センター」では、解雇、賃金、労働時間等をはじめとする様々な労働条件に関する相談に専門家のアドバイザーが無料で相談に応じています。

【問い合わせ】 沖縄労働条件相談センター
（久茂地セントラルビル3階）
電話098-860-6751

海上保安大学学生募集

海上保安大学では次のとおり学生を募集しています。同大学の募集人員は約45名、募集期間は8月30日から9月11日までです。第1次試験は10月27～28日、第2次試験は12月21日に行われます。

【問い合わせ】石垣海上保安部管理課 電話3-0118

甲種防火管理者講習会

石垣市消防本部では下記のとおり「甲種防火管理者講習会」を開催します。多くの市民の皆様が参加していただきますようお知らせします。

受付は石垣市消防本部（予防課）で8月30日まで受け付けています。（受付時間は午前9時から午後5時）
日時：9月6日（木）～7日（金） 午前9時～午後5時
場所：大浜信泉記念館2階（多目的ホール）
【問い合わせ】石垣市消防本部 電話2-4047

建設業退職金共済制度

建設現場で働く方々の退職金には「建設業退職金共済制度」があります。加入手続きの申し込みは簡単にでき、経営事項審査などで行います。掛け金は全額非課税で国が一部を補助します。また、福利厚生施設の融資が受けられます。

【問い合わせ】
勤労者退職金共済機構 電話 03-5400-4316
建設業退職金共済事業本部 事業サービス推進室
〒105-0011 東京都港区芝公園1-7-6
勤労者退職金共済機構沖縄支部
電話 098-876-5214
〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5-6-8
沖縄県建設会館2階

緊急自動車を安全に誘導

石垣市消防本部前道路に規制禁止区域を表示



のある場合に車と路面電車が入ってはならない（駐停車禁止）部分です。

石垣市では市民の生命と財産を守るため、市民の皆様が安心して暮らせるよう、災害に強いまちづくりをすすめるため、災害現場に必要な資器材等の整備を図り、消防力の充実強化に努めてまいります。

住民健康診断を受けましょう

「健康は自分で守るもの」といいますが、意外にも一人では守れません。突然に思える病気でも後で振り返ってみると、「あの時、あの症状が前兆だった」ということもあるのではないのでしょうか。

各地域で行われている健康診断の場を利用して、生活習慣の予防に役立てましょう。

生活習慣の改善は簡単なことではありませんが、それを成功させるためのキーワードは「気付き」です。

健康診断は、気付くためのいい機会です。そのためには、住民健診の結果をそのまま放置しておかず、前回と今回の結果を比較して、その変化をみてください。

現在、石垣市では各地域において平成13年度の住民健診を実施しています。日程表を確認して都合の良い日を選んで受診してください。

健康増進課保健婦 崎山佐和子

作詞・歌唱の部で出場者を募集

とうばらーま大会 9月29日開催



いにしえの時代から唄い継がれてきた「とうばらーま」は、数ある謡の中でもその旋律、歌詞ともに情緒豊かな民謡として広く愛唱されている無形の文化財です。聴く人の心に深い感銘を与えており、八重山を代表する民謡の一つです。

九月二十九日（土・旧暦八月十三日）午後七時から新栄公園において、とうばらーま大会が開催されます。（雨天の場合は市民会館大ホール）市内をはじめ沖縄本島や他府県から厳正な予備審査を通過した出演者が、独特の歌声を披露します。また、作詞の部で入賞した方々の作品も披

露されます。

応募の方法【作詞の部】

応募点数は1人3点以内（別にテーマは定めない）。応募期間は9月7日（金）まで。応募方法は自作の歌詞を官製ハガキ、又は封書にて住所、氏名、年令、連絡先、電話番号を記入して送付して下さい。（必着・歌詞、氏名等の漢字には必ず振り仮名を付けて下さい）審査は九月十二日（水）石垣市民会館で行い当日発表します。

【歌唱の部】

大会の出場者は二十五人以上（予備審査で選考）出場者の歌詞は自選歌詞二句とする。応募期間は九月十七日（月）。申込方法は官製ハガキ、または封書で住所、氏名、年齢、性別、連絡先、電話番号、自選歌詞二句を書いて期限内に石垣市民会館へ郵送して下さい。三味線、笛等の伴奏およびはやしは自由です。予備審査は九月十九日（水）午後6時から市民会館において行います。島外の申込者はテープでも可能です。

【問い合わせ】

石垣市民会館 2-1515
教育委員会文化課

3-17269